

伊賀市障がい者計画及び障がい福祉実施計画策定

のための団体ヒアリング調査

※地域福祉計画策定のための団体ヒアリングと同時開催

1 団体の概要について

① 団体名	伊賀市障害者福祉連盟	
② 障がい種別	<input checked="" type="checkbox"/> 身体障がい	<input type="checkbox"/> 視覚障がい <input type="checkbox"/> 聴覚障がい、平衡機能障がい <input type="checkbox"/> 音声・言語・そしゃく機能障がい <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 内部障がい（心臓、腎臓、呼吸器、小腸、ぼうこう、直腸、肝臓、免疫） <input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障がい	家族
	<input type="checkbox"/> 精神障がい	<input type="checkbox"/> 統合失調症 <input type="checkbox"/> うつ病・躁うつ病など <input type="checkbox"/> 高次脳機能障がい <input type="checkbox"/> 発達障がい（自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障がい、学習障がいなど） <input type="checkbox"/> その他（ ）
③ 会員数	286 人	
④ 会員の年齢層 （多い年代）	（多い年代順に○は3つまで。複数回答可） 1. 18歳未満 4. 40～49歳 ⑦ 70歳以上 2. 18～29歳 ⑤ 50～59歳 3. 30～39歳 ⑥ 60～69歳	
⑤ 貴団体の主な活動内容についてご記入ください	6支部毎の運営、社会参加の促進（スポーツ大会）	
⑥ 貴団体が抱えている活動上の課題についてご記入ください	会員の高齢化	

2 障がい理解や差別解消の推進について

(1) 平成 28 年 4 月より、障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律（障がい者差別解消法）が施行されました。この法律ができ数年が過ぎたが、何かご意見等ありますか。

また、貴団体における取り組み（または検討していること）等についても教えてください。

●ご意見

- ・昔は、飲食店等を利用する際には、自分たちの方が申し訳ないように感じていた。
- ・数年前に、工場へアルバイトに行ったが身体障害者（肢体）がいたが2階へ上がるためのエレベーターなどがなかった。苦勞していただろうと思った。
- ・いやな思いや不便を感じても自分からは言いにくい。
- ・事業者は、国から障害者雇用をするよう決められているのだから雇用した以上は対応すべきだ。
- ・自分が 30 年以上前に障がい者になった時代は、会社で差別にあってきた。

●貴団体の取り組み（または検討していること）

- ・団体の活動で施設等を訪問する際には、事前に確認（車いす通れるか？など）

(2) 本市では、障がいのある人への理解促進に取り組んでいます。

障がいと障がいのある人への理解促進のために本市が取り組むべき事項について、ご意見等ありませんか。

また、貴団体における取り組み（または検討していること）についても教えてください。

●ご意見

●貴団体の取り組み（または検討していること）

3 生活支援について

(1) 障がいのあるご本人とご家族の方が、日常生活を送るうえで主に困っていることはどのようなことですか。

貴団体にて把握している事例がありましたら、教えてください。

- ・透析などの移動支援（市などはもっと実態を把握して策を講じるべきである）
- ・障がい者の仲間を自分が運転して会議等に行っている。
- ・自治会等でも表面的には、協力的なことを言うが実際にはおいていかれていると感じている。

(2) 以前の「伊賀市障がい福祉に関するアンケート調査」の自由記述では、「障がいのある人ご本人の高齢化」、「ご家族の高齢化」、いわゆる「親亡き後」の不安に関するご意見をいただきました。

障がいのあるご本人とそのご家族の方が将来を思って不安になることや必要とする支援等、ご意見がございましたら教えてください。

- ・親の会では、親なき後のことや親の高齢化が心配である。
住まい：施設・グループホーム＝地域移行や民間会社の導入による質の担保
お金：年金
支援：相談支援員の負担、行政も支援を、強度行動障害に対する支援
- ・親が病気になった時などの急な対応など先輩の話を知ると余計に心配になる。
- ・サポートファイルの「青年期用」自宅から施設等へ入る時のための記録用
- ・医療的ケアができる事業所が県内にないことへの不安

4 生活環境について

(1) 本市では、ユニバーサルデザイン化の推進等、誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりを推進し、障がいのある人の外出や暮らしやすい環境整備に取り組んでいます。

貴団体にて把握している外出における困った事例や本市が取り組むべき事項等、福祉のまちづくりの推進についてご意見がございましたら教えてください。

- ・移動に関すること

(2) 本市では、防災意識の向上に向けた啓発・広報活動の推進や災害時支援体制の整備等、防災対策の推進に取り組んでいます。

また、昨年度から避難行動要支援台帳登録者に対する個別避難計画の作成に取り組んでいます。このことについて、何かご意見等ありませんか。

- ・避難のためには近くの方の協力が必要であり、地区単位のコミュニティーが大切だと思う。しかし、地区で避難訓練を行っても安否確認のための電話にも出てもらえない状況もある。
- ・避難所に避難しても、空調などの設備が備わっていなければ「熱中症」になるなども考えられ設備の整備も必要だ。

5 障がい福祉施策の推進にあたって

本市が、今後、障がい福祉施策を推進していくうえで、何かご意見等ありませんか。

- ・自分では元気なつもりであるが、高齢者（78歳）でもあるため、こういった団体の役員等も大変になっているが団体存続のため頑張っている。大切な団体であるため今後の存続のことも考えてほしい。
- ・地域には、子どもが巣立ち独居となった親が多い。若い人が地域にいないことや少子化の問題解決が必要だ。